

# 本の森 12月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 207 2022年12月1日 発行

## 今月の特集

### 「年の瀬に」

今年も早くも師走となりました。「年の瀬」とは12月の初旬を過ぎる頃から先を指すそうです。だんだんと慌ただしい年末になりますが、普段できなかった仕事がかどる時期でもあります。

家の片づけ、掃除の本からは、収納や整理のヒントやコツが見つかるかもしれません。庭の植木の剪定、大掃除が済めば、新年の準備、おせちの支度もあります。料理の本を参考におもてなし料理にチャレンジすることもできます。気になっていたことを解決して、今年を気持ちよく締めくくってみませんか？

### 『人生が変わる紙片づけ！』

石阪京子 著 ダイヤモンド社 597.5 イ



部屋を見回すと、机や棚の上に紙が重ねて置かれてはいませんか？物はひと目見れば何かわかるので処分しやすく、紙は読まないと内容がわからないために、判断が先延ばしにされるという悪循環に陥りやすい、と著者は分析しています。また本書では「大事な紙をなくさず5秒で取り出せるようにする方法」が示されています。

何を残すかというゴールを決め、まず紙の量を増やさない生活スタイルを実現する。その他の紙は「すぐ捨てる」か「確認して捨てる」「データ化して捨てる」という3つの行動パターンで解決する。あとは、いくつかの項目と未処理のものごとにグループ分けして、決めた棚に保管する。そうすれば、探しているものは必ずグループ分けした中にある、と著者は述べています。

この本で、探し物とサヨナラできる方が増えますように。（栗田）



マークデザイン  
加藤昌男

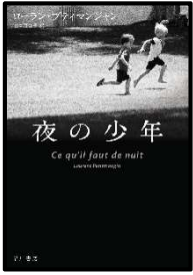
## 『夜の少年』

ローラン プティマンジャン 著 早川書房 953.7 フ

フランス北東部の田舎町に住む鉄道員の私。40代半ばで妻を病気で亡くし2人の子どもを育てていた。フットボールが上手く、弟思いの優しい自慢の長男と成績優秀な弟。やがて思春期を迎えた長男は“仲間”を優先するようになり、次第に親子の溝は修復できないほど深まっていく。ある日、帰宅した私の目に映ったのは、血だらけの変わり果てた顔と姿で横たわる長男。被害者だったはずの長男は・・・。

本書は、航空会社に在勤する57歳の著者のデビュー作。原題は著名な詩の一節で『(人生の彩を見出すために) どれほどの夜が必要か』という意味が込められている。2年前に刊行され“刺さる本”として書店員や司書の口コミで人気ที่広がり、数々の文学賞を受賞し、フランス本屋大賞の最終候補となった作品。父の想いと息子の想い、不器用な父子の物語。終始、私(父)の目線で、回顧録のように展開される物語の背景には、国民特有の政治観を主軸にフランスの現代社会が浮き彫りにされている。(酒井)

文学の  
棚から



## 『片手袋研究入門』

石井 公二 著 実業之日本社 0491

寒くなると、増えるのが片方だけ落ちている手袋です。落とした本人以外は気にも留めないこの片手袋を、著者は日ごろから注意して種類や状況ごとに「放置型」「介入型」などに分類、ついに本書を出版するにいたりました。

数年前に放映された特撮ヒーローの片手袋を見つけた時は、新しいヒーローが出てきても変わらず好きでいる子どもの姿を想像したり、電柱付近で良く見つかるのは、風で運ばれた手袋がひっかかるためと推測するなど、片手袋からは人の思考や行動、街の構造や社会のあり方などが見えてくるのだそうです。気ぜわしい年の瀬ですが、ふと足を止めて街中を観察したくなる本書をお楽しみください。(西澤)

一般書の  
棚から



レファレンスの  
棚から

## レファレンスの こんが レファレンス(調査依頼)がありました

### 「水戸黄門と黒豆について知りたい」

「郷友373号」(K51/41/47閲覧のみ)によると、茨城県水戸市で“黄門さま”でおなじみ水戸光圀が食べた料理を復元する料理屋「大塚屋」の大塚子之吉<sup>ねのきち</sup>氏は、『元禄11(1968)年12月23日、隠居所の西山荘で黒大豆納豆を食べた』という記述を元に黒大豆納豆を店で提供しました。

するとお客さんから「当時の水戸で黒大豆は収穫できない」との指摘を受け、さらに調査すると、丹波篠山市内の春日神社から茨城県の鹿島神社に黒大豆が贈られ、それを納豆にしたものを水戸光圀が食した、という経緯が判明したそうです。(西澤)



# Y onde Mite

よ ん で み て

『Y onde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『憲法に  
緊急事態条項は必要か』  
永井 幸寿 著 323.14 ナ  
2016.03 出版



来年に予想される戦後初の改憲国民投票。あなたとあなた大切な人を守るために法の専門家からの提言。

ペンネーム 豆子

『偽善者たちへ』  
百田 尚樹 著 304ヒ  
2022.06 出版



都合のいい正義をふりかざし自省しないマスコミ、犯罪者を擁護する人権派、隣国の横暴には見て見ぬふりをする輩たち…。ベストセラー作家が日本の「偽善」について語る本。

知りたい事がよく分かり、面白かった。

ペンネーム ジョウ

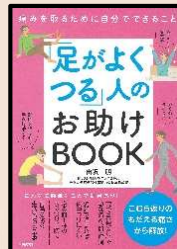
『「70歳の壁」を乗り越える  
老けない食べ方』  
和田 秀樹 著 498.59ワ  
2022.09 出版



『体によくて「まずい」物は食べるな、塩分や糖質を制限しすぎるな』など、おいしいもので脳を刺激し、健康長寿をまっとうする食事法を伝授した本です。高齢者専門医の実践が紹介されています。参考にする「ああ、楽しい人生だった」と思えるかもしれません。

ペンネーム 南天

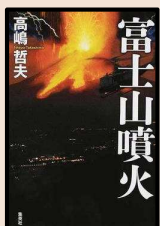
『「足がよくつる」人の  
お助けBOOK』  
出沢 明 著 493.6デ  
2022.10 出版



激痛が走る「こむら返り」。自分でできる簡単な運動療法、防ぎ方、ケア、生活習慣などが紹介された本です。ふくらはぎ以外が痛ったときの応急処置も掲載されています。本当に『お助け』いただきました。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『富士山噴火』  
高嶋 哲夫 著 Fタカ  
2015.07 出版



「津波」「首都感染（パンデミック）」など、まるで予言のような小説を数々書いている著者。この本も、とてもフィクションとは思えない。

ペンネーム YOU

『二人の嘘』  
ひとしづく  
一雫 ライオン 著 Fヒト  
2021.06 出版



美貌の女判事と、彼女の判決で服役囚となった男との物語。二人はこれからどうなるか、ハラハラして読みすすめます。

ペンネーム キャットのの



# 映画上映会のお知らせ

入場無料  
申し込み不要

## 「僕は猟師になった」

2021年 日本 99分

- 演出 川原 愛子
- 出演 千松 信也ほか
- 日時 12月 9日(金) 14:00 ~ 15:40  
12月10日(土) 15:00 ~ 16:40
- 場所 中央図書館 視聴覚ホール

わな猟師・千松信也さんに密着したドキュメンタリー。NHKで放送された「ノーナレ けもの道 京都いのちの森」に300日追加取材し、約2年間の映像に池松壮亮のナレーションを加えた劇場版作品。

イノシシやシカをワナでとらえ、ナイフでとどめをさす。自然の中で命と向き合う千松さんの日常から、真の豊かさとは何かを問いかけていく作品。

## 図書館カレンダー 12月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
🎉				1	2	3
4	5 休	6	7	8	9	10 図書館の日
11	12 休	13	14	15	16	17
18	19 休	20	21	22	23	24 クリスマスお話し
25	26 休	27	28	29 休	30 休	31 休

### 【中央図書館】

- ★「としょかんまつり」  
展示ホール：12/1(木)～12/11(日)
- ★「雑誌リサイクルフェア」  
展示ホール：12/1(木)～7(水)
- ★「映画上映会」  
視聴覚ホール：12/9(金)・10(土)
- ★「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」  
全館：12/10(土) 終日
- ★「クリスマスウィーク」  
展示ホール：12/17(土)～12/25(日)
- ★「クリスマスイベント」  
展示ホール：12/24(土) 14:00～

※イベントは行わない場合があります

## 「わたしの一番 2022」 只今投票受付中!!

2022年、あなたが読んだ中で一番おもしろかった本を一冊、投票してください  
(丹波篠山市立図書館所蔵本に限定)

受付期間：2022年12/1(木)～28(水)  
結果発表：2023年2月下旬(予定)

年末年始のお休みは12/29(木)～1/4(水)です。  
どうぞ、よいお年をお迎えください。  
丹波篠山市立図書館 職員一同

フォローしてくださいね!

